

「当会の保安への取り組み」

JLIA 一般社団法人 日本エルピーガス供給機器工業会

〒105-0004 東京都港区新橋5-20-4 (新虎サウスビル3F)

電話 03-5777-1974 HP: <http://www.jlia-spa.or.jp>



専務理事 榎本 正徳

■一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会は、LPガスの供給に使用する機器を製造するメーカーによって設立された団体です。1970年8月に「日本LPガス調整器工業会」、「日本ホース金具工業会（LPG部会）」、「全国LPガスコック工業会」の3団体が統合して、「日本LPガス機器工業会」として設立されました。その後、1980年3月に経済産業省所管で社団法人化され「日本エルピーガス供給機器工業会」と改称し、2012年4月には公益法人改革により一般社団法人となりました。

■当会で所管する機器は、LPガスの供給に使用する機器のうち、LPガス容器の先からガス機器の手前までに使用する機器です。（ペーパーライザ、鋼管及び配管継手、LPガス用ゴム管は除く。）代表的な製品としては、圧力調整器、ホース類（高圧、低圧、燃焼器用）、ガス栓、マイコンメータ、フレキ管（配管用フレキ管・継手、金属フレキシブルホース）などが挙げられ、その他各種安全機器も含めると、所管製品の数は大分類で15品目を超えます。

■当会の主な活動は、所管製品の安全性向上、及び製品を安全に使用していただくための保安啓発となります。具体的に触れますと、製品の安全性向上関連では、塩害地域である宮古島及び銚子にある日本ウエザリングテストセンターで調整器やマイコンメータの暴露試験を行い、より腐食に強いガス機器の開発に努めています。同センターの旭川暴露試験場では、ガス栓の暴露試験を実施し、寒暖差による樹脂部品の劣化についての調査を行っています。

■このほか、実際に市場で使用されている製品についてもLPガス販売事業者様ご協力のもと定期的に回収し、日本エルピーガス機器検査協会にて性能検査や分解調査を行って経年劣化状況を把握し、製品改

善につなげています。

■また、経済産業省が公表している「LPガス一般消費者等事故統計表」やメーカーに寄せられた事故・クレーム情報について分析を行い、事故等の原因特定を行っています。分析結果については、メーカー各社で製品の改善につなげるほか、製品による対策が難しいものについては、補助ツールの開発等により対策を行っています。ガス栓カバーや可とう管のつまみの色の統一（水色化）についてはご存じの方も多いのではないのでしょうか。

■一方、保安啓発活動においては、保安情報について『供給機器ニュース』や動画を作成し、HPでの公表や希望者への配布を行っています。

■また、全国に10か所ある地区会による保安啓発活動に力を入れており、定期的に都道府県LPガス協会を訪問して情報提供を行い、ご要望に応じて講習会を実施させていただいております。講習内容は、期限管理、自然災害、法令事項、製品情報など多岐にわたり、所管製品を安全にご使用いただくための活動をしています。

■国内におけるLPガスの利用開始から60年以上が経過し、製品の品質問題が少なくなってきたことを踏まえ、現在では、特に自然災害対策など付加機能を追加した機器の普及に注力しています。

■今後もLPガス業界の皆様と協力しながら、これまで以上に業界の保安向上に力を入れていきたいと考えております。



屋外暴露試験のようす



供給機器ニュースNo.30